

平成二十七年年度 秋の特別展

鈴の文化史

「ムナカタの考古学5」



(すべて実大)

会期：2015年9月29日～11月15日まで

毎週月曜日は休館日(ただし、祝日の場合は翌平日)

会場：海の道むなかた館

(福岡県宗像市深田 588 番地)

入場：無料

主催：宗像市・宗像市教育委員会



協力：飯塚市教育委員会、飯塚市歴史資料館、うきは市教育委員会、うきは市吉井町歴史民俗資料館、宇美町教育委員会、宇美町歴史民俗資料館、春日市教育委員会、春日市奴国の丘資料館、嘉麻市教育委員会、嘉麻市立織田廣喜美術館、九州国立博物館、九州歴史資料館、鞍手町教育委員会、鞍手町歴史民俗博物館、古賀市教育委員会、須恵町教育委員会、太祖神社、田川市教育委員会、筑紫野市歴史博物館、福岡市教育委員会、福岡市博物館、福岡市埋蔵文化財センター、水巻町教育委員会、水巻町歴史資料館、みやこ町教育委員会、みやこ町歴史民俗博物館、行橋市教育委員会、行橋市歴史資料館、大己貴神社、岡田神社、宗像大社、宗像大社神宝館、宮崎県教育委員会、宮崎県立西都原考古博物館、宮崎市教育委員会、宮崎市埋蔵文化財センター、石井忠、遠藤喜代志、新原正典(順不同)

今回の特別展はこの「鈴」に光を当ててみます。県内でも突出した鈴の出土数を誇る宗像地域。福津市も含めた5～6世紀の古墳から全部で25点もの鈴が出土しています。

土器だけど「鈴」



004：子持ち鈴付きはそう礎 / 宗像市・伝久原澤田古墳群 / 宗像市教育委員会蔵

鈴とガラス玉のコラボ



023：銅鈴 / 宇美町・神領2号墳第2主体 / 宇美町教育委員会蔵

鈴と鏡のコラボ



029：五鈴鏡ごれいきやう（県指定文化財） / うきは市浮羽町・こうもり塚 / 九州歴史資料館蔵

いろいろな鈴の紹介、鈴の装着方法、鈴の意義、古文書に登場する鈴の役割、先端技術を用いた鈴の分析など、様々な角度から「鈴」にアプローチしています。総展示数93点にもおよぶ、鈴の玉手箱のような展示になっています。一見の価値ありですので、ぜひお越しください。

お問い合わせ：海の道むなかた館（宗像市郷土文化学習交流館） HP：<http://searoad.city.munakata.lg.jp>

〒811-3504 福岡県宗像市深田588番地 TEL0940-62-2600 FAX0940-62-2601

こまいぬ 狛犬にも「鈴」



048：石造狛犬（県指定文化財） / 糟屋郡篠栗町・太祖神社

「鈴」が馬の使用許可証！？「えさきれい 駅鈴」



049：駅鈴・革袋（レプリカ / 県指定文化財） / 伊藤常足つねたり発注 / 個人蔵

半島に由来し、列島で展開した「かんれい 環鈴」



079：三環鈴 / 飯塚市・森原第1号墳 / 飯塚市教育委員会蔵

082：四環鈴（レプリカ） / 遠賀郡水巻町・八所神社境内古墳 / 水巻町教育委員会作成 / 個人蔵